

教 科	科 目 名		
理 科	化 学 I		
科目の種類	単位	形態	講座定員
2年必修	3	通年	1クラス

科 目 に つ い て	科目の概要	化学的な事物・現象についての観察, 実験などを行い, 自然に対する関心や探究心を高め, 化学的に探究する能力と態度を学ぶとともに, 基本的な概念や原理・法則を理解し, 科学的な自然観を養う。	選択条件	共通必修
	年 間 の 授 業 内 容	<p>■1学期(中間テスト 18 時間、期末テスト 12 時間)</p> <p>1. 物質の構成と構成粒子</p> <p>ア 物質との構成粒子</p> <p>(ア) 原子、分子、イオン</p> <p>(イ) 元素の周期表</p> <p>イ 物質と化学反応式</p> <p>(ア) 原子量、分子量、式量、物質質量</p> <p>(イ) 化学反応式と量的関係</p> <p>2. 物質の変化</p> <p>ア 熱化学</p> <p>■2学期(中間テスト 21 時間、期末テスト 24 時間)</p> <p>イ 酸と塩基の反応</p> <p>(ア) 酸と塩基</p> <p>(イ) 中和滴定</p> <p>ウ 酸化還元反応</p> <p>(ア) 酸化剤、還元剤</p> <p>(イ) 電池と電気分解</p> <p>3. 無機物質の性質</p> <p>ア 非金属元素の性質</p> <p>イ 典型元素の性質</p> <p>ウ 遷移元素の性質</p> <p>■3学期(期末テスト 30 時間)</p> <p>4. 有機化合物の性質</p> <p>ア 有機化合物の特徴</p> <p>イ 脂肪族炭化水素</p> <p>(ア) 飽和炭化水素</p> <p>(イ) 不飽和炭化水素</p> <p>ウ アルコールと関連化合物</p> <p>(ア) アルコールとエーテル</p> <p>(イ) アルデヒドとケトン</p> <p>エ 芳香族化合物</p> <p>(ア) フェノール類</p> <p>(イ) 芳香族カルボン酸</p> <p>(ウ) 芳香族アミン</p>	授業形態	一般教室での講義と化学室での実験・実習。
			教科書・使用教材	教科書: 改訂版新編化学 I (数研出版) 問題集: 化学 I 学習ノート (数研出版)
			評価の観点	・定期試験(小テストも含む)、授業(実験・実習・レポート)等を通して基本的な知識理解や操作が身に付いているかどうかを評価する。 ・4つの観点: 関心意欲態度・思考判断・観察実験の技法表現・知識理解
			評価の方法	・定期試験。課題、実験や授業へ取り組む態度、姿勢、意欲、関心、出席状況を総合的に評価する。 ・欠課時間が規定の数を越えた者は10 評定で「1」とする
			備考	